

**第3次亀山市総合計画 前期基本計画**

# **実施計画**

**個別事業シート(変更)**

**<令和8年度～令和11年度>**

**令和8年5月**

目 次

6. 多様な連携と交流によるまちの活性化

計画コード	事業名	担当部署	区分	主な変更点	頁
26081	都市ブランディング推進事業	政策部 政策推進課 政策調整G	変更	地域未来交付金の採択に伴う財源内訳の変更	P2
26082	移住交流促進事業	政策部 政策推進課 政策調整G	変更	地域未来交付金の採択に伴う財源内訳の変更	P3

合計:2事業

[ 変更:2事業 ]

※令和8年6月補正に伴う第3次総合計画前期基本計画実施計画の個別主要事業の追加・変更を行ったものを掲載しています。

(参考:実施計画の変更基準)

① 追加	・計画の対象となる主要事業の新たな追加
② 変更	・本計画上の主要事業ごとに、単年度の事業費の10%を超える増 ・本計画上の主要事業ごとに、単年度の事業費の20%を超える減 ・主要事業のコンセプトや事業形成要件の大幅な変更
③ 廃止	・本計画上の主要事業の廃止

主要事業個別シート(第3次総合計画前期基本計画実施計画/令和8年度～令和11年度)

①基本事項	計画コード	26081	事業名	都市ブランディング推進事業		担当部署		
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他( )					部	政策部
	政策の大綱	06:多様な連携と交流によるまちの活性化		予算科目	会計	01:一般会計		
	基本施策	04:多様な交流の促進			款	02:総務費		
	施策の方向	01:シティプロモーションの強化			項	01:総務管理費		
重点プロジェクト	01:未来デザインプロジェクト		目		07:企画費			
事業期間	R 8 年度	～	R 9 年度	主な根拠法令等		課	政策推進課 政策調整G	

②事業概要	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	本市では「選ばれるまち」を目指し、シティプロモーションによる魅力発信に取り組んできたが、情報発信が個別に展開されており、統一的な都市イメージの形成や施策間の連携に課題がある。このため、都市ブランドのコンセプトを確立し、各分野で連携した一貫性のある情報発信等を推進する必要がある。	市内外の人 庁内関係部署	本事業により、本市の魅力が一貫したメッセージで伝わり、市民・関係人口・来訪者が共通して本市の価値を認識できる状態が形成され、その結果として本市への愛着や共感が高まり、「住みたい・関わりたい」と感じる人が増える都市イメージが確立されている状態を目指す。	外部人材の知見を取り入れて本市の魅力を整理しつつ、統計分析やワークショップ・アンケートによって市民や関係人口の認知や意識を把握し、ブランド構築に必要な基礎情報を収集する。これらの成果をもとに都市ブランドのコンセプトと今後の情報発信や施策展開につなげる方針案を策定し、庁内外で共有できる戦略としてまとめていく。

年度		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
③事業の計画	年度別事業計画	○外部人材の活用 ○統計データの調査・分析 ○アンケート調査等の実施	○外部人材の活用 ○ブランディング方針案の作成		
	計画額	事業費 9,500千円	9,500千円		
	国・県支出金	250千円			
	地方債				
	その他				
	一般財源	9,250千円	9,500千円	0千円	0千円
	予算額	事業費 9,500千円			
	国・県支出金	250千円			
	地方債				
	その他				
	一般財源	9,250千円	0千円	0千円	0千円
①期間内事業費(R8-R11)		19,000千円	②期間外事業費(R12-)	0千円	①+② 総事業費 19,000千円

④指標	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	都市ブランディングの方針案作成		活動		計画値	調査・分析	方針案作成		
					計画値				
					計画値				

主要事業個別シート(第3次総合計画前期基本計画実施計画/令和8年度～令和11年度)

①基本事項	計画コード	26082	事業名	移住交流促進事業		担当部署	
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他( )					
	政策の大綱	06:多様な連携と交流によるまちの活性化		予算科目	会計	01:一般会計	
	基本施策	04:多様な交流の促進			款	02:総務費	
	施策の方向	02:移住交流の促進			項	01:総務管理費	
重点プロジェクト	01:未来デザインプロジェクト		目		07:企画費		
事業期間	H 28 年度 ~ R 11 年度		主な根拠法令等		課	政策推進課 政策調整G	

②事業概要	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	東京圏への人口一極集中の是正に向け、全国的に地方移住を促進する取り組みが進められる中、本市においても持続可能なまちづくりに向けた人口減少抑制のため、移住関連施策を推進している。コロナ禍において地方移住の機運が高まる中で、本市への人の流れを一層創出していく必要がある。	移住希望者 移住者 市外の人	本市の魅力や暮らしの価値が移住希望者に分かりやすく伝わり、安心して移住を検討できる環境が整っているとともに、それにより本市への移住者が着実に増え、地域との関わりを持つ人々(関係人口)が広がることで、持続的な人の流れが生まれている状態を目指す。	定住支援員や首都圏等に在住の移住・交流促進アドバイザーを設置し、移住に関するワンストップ窓口を設置する。また、移住に関する「仕事」「住居」を中心とした相談体制や移住体験などの機会を設けるとともに、移住者間の交流ネットワークを構築する。

年度		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
③事業の計画	年度別事業計画	○相談体制の充実 ○移住相談会・体験会の実施 ○移住者間の交流ネットワークの構築 ○移住・就業マッチング支援事業	○相談体制の充実 ○移住相談会・体験会の実施 ○移住者間の交流ネットワークの構築 ○移住・就業マッチング支援事業	○相談体制の充実 ○移住相談会・体験会の実施 ○移住者間の交流ネットワークの構築 ○移住・就業マッチング支援事業	○相談体制の充実 ○移住相談会・体験会の実施 ○移住者間の交流ネットワークの構築 ○移住・就業マッチング支援事業
	計画額	事業費 12,000千円 国・県支出金 4,770千円 地方債 その他 一般財源 7,230千円	7,700千円 1,500千円  6,200千円	7,700千円 1,500千円  6,200千円	7,700千円 1,500千円  6,200千円
予算額	事業費	11,310千円			
	国・県支出金 地方債 その他 一般財源	4,770千円   6,540千円	0千円	0千円	0千円
①期間内事業費(R8-R11)		35,100千円	②期間外事業費(R12-)	0千円	①+② 総事業費 35,100千円

④指標	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	移住相談件数	移住窓口・フェア等での相談件数	活動	件	計画値	60	73	86	100
	移住希望者及び移住者間交流回数	移住体験会、移住者間イベント等の開催回数	活動	回	計画値	23	25	25	25
	移住者数	市の施策を活用した移住者数	成果	人	計画値	85	90	95	100